

# つながる | 17



特集

17期生のあゆみ

## グループ活動報告

P11 おうみ子ども未来塾

P18 たなぼた家

P25 おうみ x ツーリズム

P31 翔んでびわ湖



Thanks  
Message

～Be Ambitious～

自分を信じて

行動し続ければ必ず夢は叶う！

運営委員長 藤田 知丈

おうみ未来塾7期生

暮らシフト研究所 代表



おうみ未来塾の開塾以来、四半世紀に渡って塾の運営を担ってくださっていた”大御所”の先輩方が16期生の卒塾とともに運営委員を卒業され、今期は若輩者の卒塾生だけで運営委員を担ってきました。この場を借りて今期の運営委員の“グループ成果報告”をさせていただきます。

私たちのミッションは「17期生が、誰一人取り残すことなく、地域プロデューサーとしての『学び』と『成長』を実感してくれること」と、「心の底から『未来塾に入塾してよかった』と思ってもらえること」。

成果報告会や各自のレポートを見る限り、上記のミッションは概ね達成できたのではないのでしょうか。ただ、それはひとえに17期生の皆さんの実力であって、運営委員はまだまだ力不足であったとも感じています。手を差し伸べるべきか、見守るべきか。企業の社会貢献活動と草の根市民活動はどう折り合えるのか。現役生と卒塾生がより有機的に関わり合うためには…。これからも、葛藤と試行錯誤を繰り返し、皆さんのお力添えも得ながら、さらに超絶面白くて意義深いおうみ未来塾をプロデュースしていきたいと思えます！

Thanks  
Message

22人22色のご活躍を  
楽しみにしています！

運営委員 根木山 恒平

おうみ未来塾7期生

NPO法人碧いびわ湖常務理事



おうみ子ども未来塾は100万円以上の資金を集め、たくさんの来場者を迎え、お仕事体験イベントを大成功させました。ボランティアと事業者の協働という難易度の高いマネジメントを経験され、得難いノウハウを身に付けました。

たなぼた家のみなさんのバイタリティは目を見張るもので、伊香立まち協とのコラボ活動に大きな活気をもたらしました。今後、メンバーそれぞれが地元や本業において更に活躍されることが今から楽しみです。

おうみxツーリズムは、堅朗で寛容なベテランと斬新なZ世代が融合したグループで、長浜と草津という地域で多彩なパートナーとつながり、スマッシュヒットを連発されました。

翔んでびわ湖のメンバーそれぞれの琵琶湖愛は、言葉よりも行動がものを言うような確かさがある、21世紀の琵琶湖の住民運動をリードしてくれると信じています。大人だって「うみのこ」(環境学習船)に乗りたい！という野望、いつの日か実現してください。

Thanks  
Message

皆さんは、地域の光です！  
おうみの星です！

17期生の皆さんご卒塾おめでとうございます！あっという間の1年半だったのではないのでしょうか。私たち運営委員も皆さんをサポートするという重責を担い、試行錯誤しているうちに、終わってしまったなあという感じでもあります。

でも、皆さんの熱意と努力によって、とても素晴らしいグループ活動をされて、成果もあげられ本当に素晴らしいと思います。私たちの方が皆さんからたくさんのお話を学ばせていただいた

運営委員 山本 泰裕

おうみ未来塾7期生

ジーマデザイン株式会社

代表取締役



と感じております。これから皆さんは、それぞれのフィールドで活動されると思いますが、未来塾で学び経験したことを活かして大きく羽ばたいてください。

今、世の中の価値観は大きく変わろうとしています。既存の価値観にとらわれず、皆さんの心の声に従って信じる道を進んでいってください！

Think Locally, Act Locally, It becomes Globally!

Thanks  
Message

## 世界とつながる 地域の活動地域に 根付いて世界に羽ばたけ！

### 運営委員 大河原 佳子

おうみ未来塾7期生  
一般社団法人  
甲賀市国際交流協会 事務局長



17期生のみなさん、卒塾  
おめでとうございます。

伝説のグループ「7期生・  
ひょうたんからKOMA」のメンバーとして卒塾  
し、これまでの間、世界も社会も地域も私たち  
の生活スタイルも様々な変化がありました。

今回、運営委員として地域プロデューサーを  
目指す皆さんのエネルギーを感じる1年4か月  
でしたが、果たして自分自身が未来塾の卒塾生  
として地域の課題解決のために取り組んできた  
か、これから未来塾はどのような人財を社会に  
輩出していこうとしているのか等、改めて考え  
させていただく機会となりました。そして、未  
来塾を卒塾した人たちが、「地域の中でこうい  
う人財でなければならない」、「地域プロデュー  
サーとしてこうしなければならない」という  
「べき論」はないのではということも今回改め  
て感じました。

私たちの活動の全てが、世界につながって  
います。Think locally, Act locally, It becomes  
globally. 未来塾の初代塾長の日高先生の言葉  
は、20年経っても、そしてこれからも変わらない  
未来塾の目指すものだと実感しました。それ  
ぞれの場でのご活躍をお祈りしています。

Thanks  
Message

## いつまでも 心のわくわくに忠実に♥ その気持ちは底知れぬ原動力と 伝わる力に！

### 運営委員 木田 桃子

おうみ未来塾14期生  
WAKU WAKU GAKKO  
スタッフ



運営委員として未来塾  
には関わらせていただい  
ておりましたが、私自身  
も尾道でみなさんと同じ  
ようにたくさんの挑戦があつた1年半でした。  
フリースクールの活動を通して、子どもの成長  
や教育に新たな視点から取り組みました。

初めは「読み・書き・そろばん」に非常に  
執着していて、如何に楽しく子どもたちに伝え  
るかを自分の使命と勝手に思っていました。

しかし、活動していく中で子どもたちとバン  
ドを組むことになり、今年ライブに2回出演  
させていただきました。その中で、私自身が目  
に見えない「言語化」の壁にぶち当たっていた  
ことに気づかされました。様々な活動を広く知  
っていただくための手段として必要不可欠では  
ありますが、音楽、芸術、ダンスなど他の手段  
もあることに気づかされ、解放された感覚があ  
りました。

今ではInstagramやYouTubeなど画像で表現  
することも増えたと思いますが、皆さんもぜひ  
色々な形で活動を表現してってください！

## 運営委員の皆さまへ

1年と4か月間、どう進んでいけば  
よいのかを悩み続けている私たち  
に、ときに優しく、ときに厳しく声をかけて  
くださいました。

卒塾生からのアドバイスは、何よりも  
参考になり、励みになるものでした。

あきらめず、寄り添い続けていただき  
感謝申し上げます。

おうみ未来塾 17期卒業生一同



## 卒塾に寄せて

淡海ネットワークセンター 事務局長  
南圭子



おうみ未来塾17期の皆さん、卒塾おめでとうございます。  
1年4か月にわたる塾生活動、いかがでしたでしょうか。

私自身振り返ると、「未来塾17期生の応募はあるだろうか？」  
と大変心配していたにもかかわらず、結果的には定員以上の応募があり、ほっとしたことを  
思い出します。また、入塾式での塾生自己紹介を聞き、その個性とパワーに感激し、17期は  
きっといい感じの活動になるだろうと期待が高まりました。

本講座、サブ講座を経て、後半のグループ活動へと進みましたが、4つのどのグループも精  
力的に活動を進めておられました。うまくいったこと、感動したこと、たくさんあった一方  
で、失敗したこと、もめ事もあったのかなと思いますが、それを乗り越え、力強い成果発表  
をありがとうございました。

今後は、未来塾での学び、出会いを大切にしながら、それぞれの地域で活躍され、滋賀県  
をますます元気にしてくださることを期待しています。

また、卒塾生として、これからもおうみ未来塾を応援してくださいね。



## 17期卒塾生紹介

【一言メッセージ】卒塾後、みんな何したい？

おうみ子ども未来塾



大屋久美子  
地域と人を繋ぐ！  
私らしく！



今井幹太  
ソーシャル  
ビジネスの創業

たなぼた家



伊東竜成  
たなぼた家の  
活動継続



荒川博志  
大志を抱ける  
人となる



奥野ふじみ  
地域プロデューサー  
になる



豊田秀樹  
第2回シッガニア  
の開催



木村久美子  
子どもたちの様々な  
体験の応援



北脇すみよ  
地域のイベントを  
応援する人



青木清美  
伊香立プロデュース  
事業を法人化



山本りか  
つながり広げて  
明るい未来を！



今井由莉  
発酵×農業で  
地域貢献



今井穂乃実  
みんなの  
アイドルでした

Thanks  
Message

おうみ未来塾17期生のみなさん、卒塾おめでとうございます。コロナ禍真ただ中で始まったおうみ未来塾16期とは違い17期は、コロナ禍が明けて社会が外向けに活発に動き出したタイミングでの入塾となりました。オンラインミーティングなど便利なツールは受け入れ、でもやっぱり人と人とのリアルな交流が大切だったと再認識した時期でした。そんな時代の流れに沿ってか17期生の皆さん、パワーに満ち溢れてエネルギッシュという印象でした。

特にグループ活動では、一人ひとりの経験や学びを活かし、メンバーと切磋琢磨し、地域や行政、企業ともつながり、協力しながら着実に一步步目的を達成されたように思います。

成果発表会では、4グループ共に素晴らしい発表をしていただきました。22名の個性豊かな17期メンバーとの出会いは一生の宝物ではないでしょうか。

事務局の私たちも、塾生のみなさんと素敵な出会いをさせていただき感謝しています。

これからは、卒塾生ネットワークを通して、ゆる〜くつながりながら、そして楽しみながら、滋賀県を元気にしていきましょう。

淡海ネットワークセンタースタッフ一同



翔んでびわ湖



川村幸夫

おとなの  
フローティング  
開催！



藺田孝浩

もっと、びわ湖に  
はまりたい

おうみ  
×  
ツリー  
リズム



山本一男

近江の歴史文化  
の核心に迫りたい



若林佳子

地域資源で人と  
経済を活性化する



花崎昌子

地域プロデュースを  
故郷で継続



鶴田真理子

楽しみながら  
大人への環境啓発



加賀山温子

琵琶湖の癒し  
パワーを活かす活動



深田拓哉

新たな魅力を  
生み出せる人にな  
る



井上昂大

地域をより  
考えたいです



末吉隆博

湖中を  
翔んでみます!!

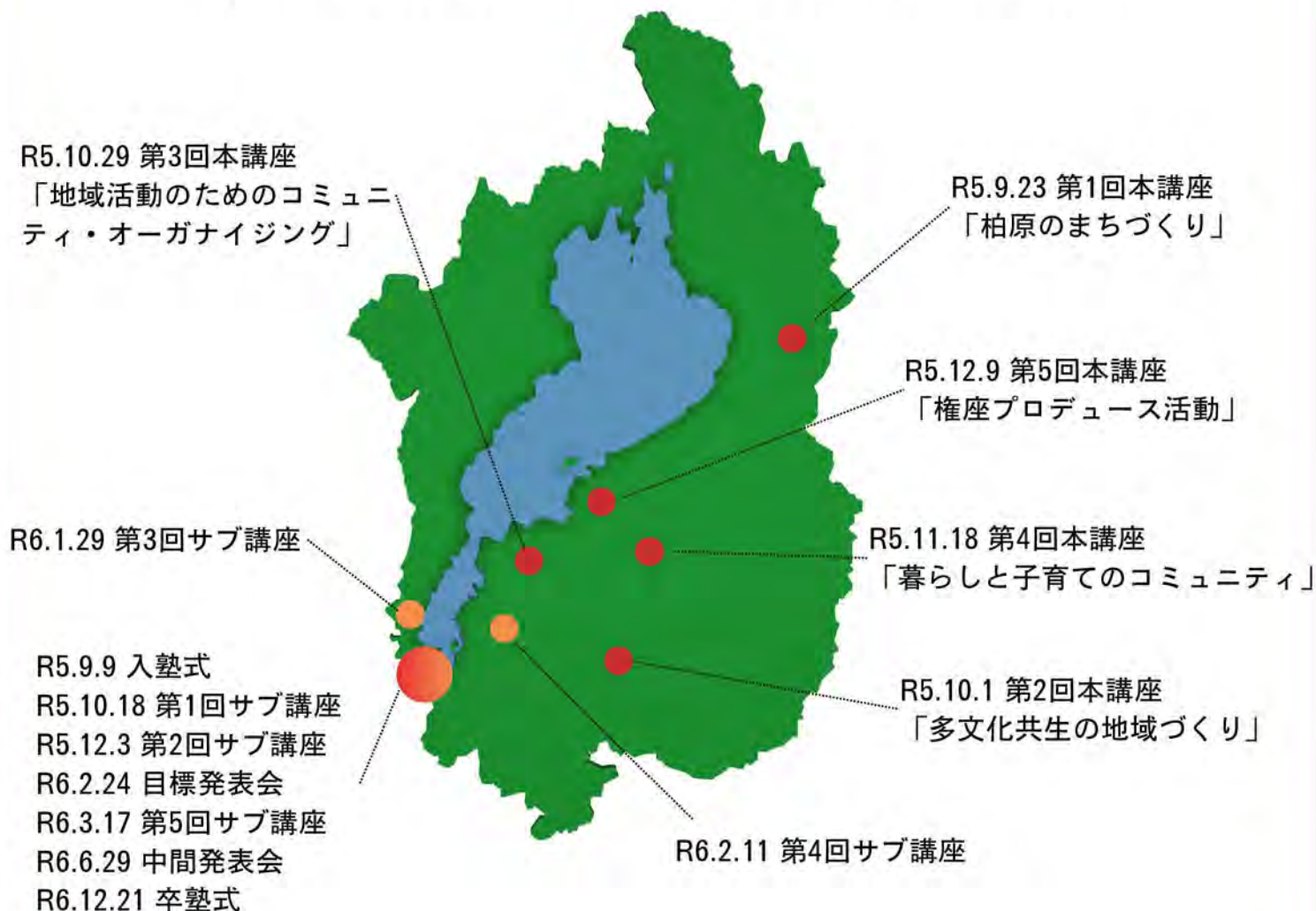


野矢美幸

日野から琵琶湖へ  
愛を伝えます！



## 17期生が訪ねた滋賀の学びスポット



### R5. 9.9 第17期生入塾式

#### 挨拶

菅 哲哉 理事長

#### 基調講演

「“未来”が危うい～サバイバルのため、私たちが出来ること～」  
NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク元代表 藤井絢子さん

#### 臨席

滋賀県総合企画部 浅見裕見子部長



個性豊かな17期生のメンバーと初対面しました。運営委員の方を始め、ご臨席いただいた方々から温かいお言葉をいただき、塾生としての心構えを学びました。

## R5. 9.23 第1回本講座 柏原のまちづくり

@柏原（米原市）

講師：山本泰裕さん

サブ講師：鹿取顕崇さん、柴田雅美さん



お昼ごはんは柏原宿歴史観・喫茶柏でいただきました。

まずは講師の山本さんに柏原を案内していただきました。



17期生で「ピカジップ」を行いました。



米原市自治環境課の鹿取顕崇さんに「米原市におけるまちづくり～空家対策・柏原宿活性化～」についてお話いただきました。また山本泰裕さんには「柏原のまちづくり」そして、講座の最後は、11期生の柴田雅美さんの指導のもと「ピカジップ」と「哲学対話」というグループワークを行いました。初めての本講座で緊張もありましたが、グループワークを通して17期生のメンバーについて少しでも知ることができたので良かったです。

## R5. 10.1 第2回本講座 多文化共生の地域づくり

@甲賀市役所別館（甲賀市）

講師：大河原佳子さん

サブ講師：山本尚路さん



国際交流フェスタの様子

甲賀市まる一むで行われた「国際交流フェスタ」をフィールドワークとして、多文化交流を行いました！まずはグループに分かれて、様々な国籍の方へのインタビューを通して国際文化について学びました。講師はおうみ未来塾運営委員でもあり、一般社団法人甲賀市国際交流協会 事務局長の大河原佳子さん。「多文化共生の地域づくり」を事前講義していただきました。当日は、おうみ未来塾15期の山本尚路さんに、フィールドワークと振り返りをお手伝いしていただきました。



終了後、甲賀市役所別館で振り返りをしました。



## R5. 10.29 第3回本講座 地域活動のためのコミュニティ・オーガナイズング

@もりやまエコパーク (守山市)

講師：根木山恒平さん

サブ講師：北村真理子さん、森田雄さん



北村さんと森田さんから守山での活動についてお話をいただきました



協生農法で栽培されている畑では収穫体験させてもらいました

15期生の北村さんに守山の幸津川地域の梨農園について、地域の方と農コミュニティの楽しさをお伺いし、NPO法人きょうどう守山の森田さんにお祭り継承のことやじろべえカフェについてお話いただきました。また根木山さんに地域活動のためのコミュニティ・オーガナイズングについて講義していただきました。オプションツアーとして「おうみんち」や根木山さんの自然再生農園の見学に行きました。

## R5. 11.18 第4回本講座 暮らしと子育てのコミュニティ

@ひだまり学舎 (竜王町)

講師：木田桃子さん

サブ講師：北川容子さん



ワークショップでは「できること」「欲しいもの」「もったいない」「助けて」についてシェアしました

おうみ未来塾や地域おこし協力隊での経験や学んだことについて木田桃子さんからお話いただきました。物事をシェアすることで、暮らしの豊かさやゆとりを生むことを教えていただきました。午後からはワークショップを行いつつ、北川さん夫妻にデンマークと日本の違いについて、SDGs、教育、考え方などの観点からお話いただきました。この講座では子ども企画も同時開催し、子どもと大人が一緒になって学びました。



ひだまり学舎は大人も子どもも居心地の良い場所でした

## R5. 12.9 第5回本講座 「チームでの学びと事業計画づくり」

@島コミュニティセンター（近江八幡市）

講師：藤田知丈さん サブ講師：大西實さん



権座にて  
とてもいい  
景色でした



おうみ未来塾7期のグループ活動「ひょうたんから駒」の活動から始まった、権座プロデュース。水郷コンサートや酒米づくりなど、現在も引き継がれている活動について学びました。午前中は17期生皆で田舟に乗り、権座へ上陸！その後、サブ講師である島コミュニティセンターの大西さんに権座での取り組みについてお話いただきました。午後からは運営委員の藤田さんより、これから始まるグループ活動のアドバイスをいただきました。グループの決め方、考え方のヒントや、事業計画づくりはとても参考になりました。



貴重な田舟乗り体験

### 【R5. 10.18 第1回サブ講座】

「オンライン・コミュニケーションのスキルアップ」

おうみ未来塾9期卒業生 くうのるくらすの創造舎 南村 多津恵さん

グループ活動ではZoomが必須！基本的な使用方法について学びました。

### 【R5. 12.3 第2回サブ講座】

「地域の価値を見つけ出す活動について」  
coordination株式会社 小林 朗子さん

甲南大学の学生とのフィールドワークや西宮の酒蔵巡りについてお話いただきました。



### 【R6. 1.29 第3回サブ講座】

「滋賀県が元気になるためにはどうすれば良いかというテーマで対談」

吉本興業 ファミリーレストラン しもばやしさん

良く通る大きな声で次々と滋賀県ネタが出てくるのは、さすがしもばやしさん。熱いトークで盛り上がりました。



### 【R6. 2.11 第4回サブ講座】

「滋賀県内での地域の活動についてその他、地域にお金がまわる仕組み等について」  
株式会社ENSO 中島 吉浩さん



人脈形成の大切さやモチベーションを維持すること、立ち上げた際の活動の組織形態を考えておくことの大切さを学びました。

### 【R6. 3.17 第5回サブ講座】

「地域共生社会について」  
滋賀地方自治研究センター理事/一社・協同総合研究所理事/ワーカーズコープ・センター事業団顧問 中西 大輔さん



共生社会とは皆が支え合う社会のこと。中西さんには1グループずつ話を聞き、アドバイスをいただきました。

## R6. 2.24 目標発表会

おうみ未来塾17期生のグループ活動目標発表会を開催しました。  
この発表会では、塾生が後期のグループ活動における目標や計画などを発表し、運営委員や卒塾生にアドバイスを受けることで、今後の活動を順調に発展させていけるように、エールを送ることを目的としています。  
運営委員だけでなく、会場からの卒塾生や一般参加者からも多くの貴重なご意見をいただきました。



### おうみ子ども 未来塾

地域と協力し、学校以外の学びや体験の機会を提供することによって「子ども達が自主的に自分の未来を創造できる社会」を作りたいと発表しました。まだ活動内容がはっきりと決まっていない中、運営委員さんの方々から鋭い質問もあり、活動の本質を考える良い機会になりました。

### 翔んでびわ湖



滋賀県の全小学5年生が学んでいる「うみのこ学習」の大人バージョンを企画し、びわ湖に興味を持ってくれる大人が一人でも増えるような活動をしたと発表しました。  
思いや狙いが中々運営委員さんに伝わらず、「自分のことばで想いを伝えることの難しさ」を痛感しました。

### たなぼた家



伊香立地域住民との交流を通じて協力体制を構築し、地域活性化を目指しています。田植え体験を提供することで積極性が生まれ、伊香立への訪問を重ねる中で地域への愛着も深まりました。また、新しいイベントの準備に向けた下地作りも進行中です。引き続き地域と連携し、魅力的な取り組みを展開していきます。



### おうみ × ツーリズム

「各地域の人々が、地域愛と誇りを持ち幸せに暮らす」という目標のもと、それぞれの地域にあった課題解決型のツーリズムを実施するための計画について発表しました。ツアー内容や協力団体に目星をつけてまとめ上げた具体的な計画をつくるよう、コメントをいただきました。



☆交流会☆  
あたか飯店  
浜大津店

## R6. 6.29 中間発表会

22名の塾生が、後期コースで4つのグループに分かれて活動を展開し始めてから、約半年が経過していました。中間発表会では「グループで何を学び、12月の発表会に向けてどのような活動を進めていくのか」について発表をしました。

各グループでの現在の立ち位置を再確認するとともに、運営委員や参加者からアドバイスをいただき、今後のグループ活動を順調に発展させて行ける新たな視点を備える場となりました。



### おうみ子ども未来塾

発表時は五穀のイベントしか実施していなかったのですが、10月のシッガニアについてはまだまだあまり実感がない感じでした。もうちょっと早めに動いておけば良かったと反省しています。

前半に実施したツアーの成果報告と、これから行うツアーの計画について発表しました。

- ①里山の風と味を楽しむ  
山守のいる町八丈岩へ登ろう
- ②長浜・庭園めぐり  
庭園文化を敷（し）る
- ③草津ツーリズム  
新たな交通手段、観光イベント企画



### おうみ x ツーリズム



### たなぼた家

伊香立地域住民との交流を通じて協力し、地域活性化を目指しています。田植え体験を提供することで積極性が生まれ、伊香立への訪問を重ねる中で地域への愛着も深まりました。地域と連携し、魅力的な取り組みを展開していきます。

自分たちの活動が「地域課題」とつながっていることを、自分たちのことばで伝えました。運営委員さんに納得してもらえた時のメンバーの安堵の表情が忘れられません（笑）自信をもったこの日から各団体への突撃大作戦がはじまります。



### 翔んでびわ湖

# おうみ子ども未来塾

～子どもたちが自主的に自分の未来を創造できる社会を目指して～

## 私たちについて

子ども達に様々な体験の場を提供したい！との想いで集まった5人のメンバー。職業は公務員、会社経営者、保育士、個人事業主など様々です。今の世の中はIoTやAIの登場により、ますます未来が予測できない社会になっています。そんな中、子どもたちが未来を生き抜くためには、子どものうちから様々な経験をすることが大切だと考えました。そんなおうみ子ども未来塾のメンバーが協力して、子ども向け職業体験イベントを開催しました。



左から豊田、今井由莉（+娘）、木村、今井幹太、大屋

## 私たちのミッション

子どもが自主的に自分の未来を創造できる社会をつくる



そのために！

地域と協力し、学校以外の学び・体験の  
機会と仕組みを提供する

## メンバー紹介



今井幹太  
(リーダー)  
Kanta Imai  
公務員



豊田秀樹  
(副リーダー)  
Hideki Toyota  
経営者



木村久美子  
(会計)  
Kumiko Kimura  
保育士



大屋久美子  
(連絡係)  
Kumiko Ooya  
保育士



今井由莉  
(編集委員)  
Yuri Imai  
科学実験・  
発酵教室講師

# おうみ子ども未来塾のあゆみ

1月

- ・おうみ子ども未来塾結成！



見学

2月

- ・目標発表会
- ・「こどなBASE」実践報告会&交流会に参加



見学

3月

- ・多文化共生支援センター見学
- ・ばたばたふぁーむ見学
- ・草津ファーマーズマーケットでお手伝い



お手伝い

4月



5月

- ・五穀でコック体験 (イベント)
- ・草津ファーマーズマーケットでお手伝い
- ・中間報告会



コック体験

1~3月は勉強も兼ねて、地域で活動されている団体の見学やお手伝いへ。5月には身内を呼んで初のイベント「五穀でコック体験」を開催しました！(詳細は13ページ)

7月

- ・シガニアの準備



コック体験

8月

- ・五穀でコック体験
- ・シガニアの準備



準備

9月

- ・シガニアの準備

10月

- ・キッズ職業体験マルシェ「シガニア」

一大イベント！！



シガニア

11月

- ・シガニアの報告、反省等



シガニア

12月

- ・成果発表会

8月は一般の方を募集してコック体験を行いました(詳細は13ページ)。そして10月には子ども向けに職業体験マルシェを開催。7~10月はこの一大イベントに向けて準備で大忙しでした(詳細は14~16ページ)。

# 職業体験イベント①

## 五穀でコック体験

5/15(水)と8/20(水)にイオンモール草津にある五穀という飲食店を舞台にして、子ども達に料理や配膳を体験してもらいました！参加者は各6名。



まずは基本の挨拶から！



表情は真剣そのもの



釜炊きご飯も作ります



最後はみんなでいただきます！



イベント後に子ども達から「楽しかった」という声をもらい、私たちも嬉しくなりました。何よりイベントを開催した私たちがとても楽しかったです！ただ集客には苦労し、結局一般からの参加者は一人のみ…。知り合いの方のお子さんに来ていただき、初めてのイベント運営の勉強になりました。

# 職業体験イベント②

## キッズ職業体験マルシェ シッガニア

10/26と10/27にイオンモール草津にて子どもの職業体験イベントを開催しました。今回のテーマは「IT・ものづくり」全15ブースで様々なジャンルのクリエイターさんが体験を提供してくれました。両日ともすぐに満席となり大盛況に終わりました。



開催当日のMT。  
たくさんのスタッフの方に支えられました。



開始前から大行列!!  
走って会場まで来られる方もいました。



開催の様子



お仕事の報酬にお菓子を  
プレゼントしました。

<b>A</b> 中学生社長のしごと	<b>B</b> 映画かんとくのしごと	<b>C</b> 中学生YouTuberのしごと
<b>D</b> プリントのしごと	<b>E</b> AI画像のしごと	<b>F</b> 漫画家・イラストレーターのしごと
<b>H</b> デザイナーのしごと	<b>J</b> 漫画家のしごと	<b>K</b> アニメーターのしごと
<b>M</b> VRアーティストのしごと	<b>N</b> ARクリエイターのしごと	<b>O</b> Vtuberのしごと
<b>G</b> 絵本作家のしごと	<b>I</b> アニメーションのしごと	<b>L</b> プログラマーのしごと
<b>J</b> 漫画家のしごと	<b>K</b> アニメーターのしごと	<b>P</b> ドローンパイロットのしごと

全部で15のクリエイターさんに出店していただきました。



集客のため  
一部ブースは  
イオンモールの  
別エリアにて  
開催しました。



子ども達はとても楽しそうに  
体験に参加してくれました。



# 【出展内容（一部）】

## プログラマーの仕事



プログラミングを使って  
ロボットを操作し、ゲームに  
チャレンジしました。

## 中学生社長の仕事



小学生副社長と一緒に  
自分の名刺を作り最後に  
名刺交換しました。

## 映画監督の仕事



実際に映画のワンシーンを  
撮影し、その動画を  
編集加工しました。

## 絵本作家の仕事



自分の身近な経験から  
簡単なお話のじゃばら  
絵本を作りました。

## アニメーターの仕事



紙とペンを使ったアナロ  
グな方法でアニメショ  
ンの動きを作りました。

## ドローンパイロットの仕事



まるで鳥になったような  
感覚でスムーズなドロ  
ンの操縦をしました。

## ARクリエイターの仕事



AR(拡張現実)を使い、自動  
販売機の中でおじさんたち  
が働く様子を見ました。

## プリントの仕事



トートバッグにシルク  
スクリーンプリントする  
体験を通じて、デザイ  
ンと販売を学びました。

## 漫画家の仕事



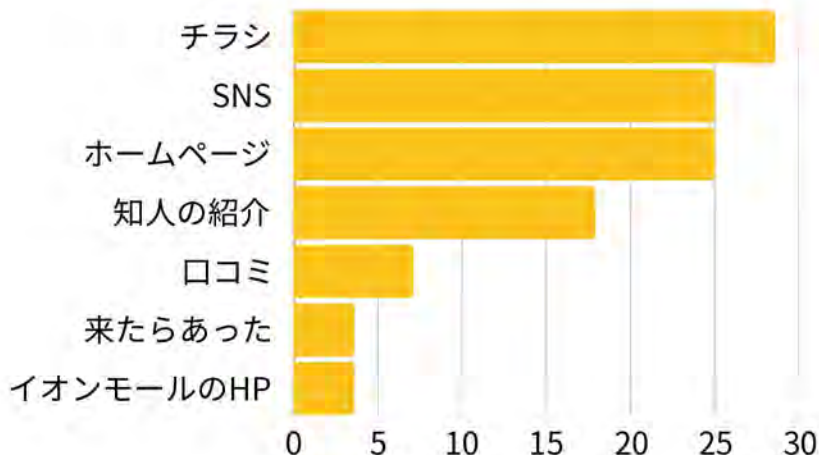
コマ割りや吹き出しなど  
漫画の仕事を学びながら  
実際に漫画を描いて  
もらいました。

## 【イベント後のアンケート】

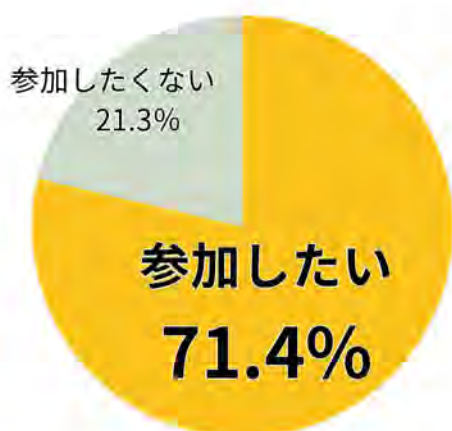
### イベント全体の満足度



### イベントを知ったきっかけ（複数回答あり）



### 有料になっても参加したいですか？



### 参加費はどのくらいが適切ですか？



### 【参加者さんの声】

- たくさんのお仕事体験があってとても良かった。
- 作るのも見るのも楽しかった！
- 子どもの様子を見て対応していただき、作りたいものができてとても楽しかったようです。
- 「こういうお仕事をするのも良いね」と言っていて職業の視野も広がったようです。
- プロの道具で絵が描けて楽しかった。
- 大変すばらしい企画なので、今後、滋賀の企業が協賛して、滋賀の名物になればと、大人もワクワクしました！
- なかなか体験できない職業で、楽しかったです。
- 上手くほめながら教えていただき、絵を描くのが更に好きになったと思います。

### 【協賛企業の皆さま】



計22の企業様から協賛いただきました。集まった協賛金63万円は、助成金とともにイベント運営に使用しました。

# 今後の活動方針



01

職業体験  
マルシェ

今後も職業体験マルシェを年1回程度継続開催し、経験値と対外的な信用度を積み上げる。

02 小規模事業の実証

五穀イベントのような店舗・事業所での小規模イベントや子ども向けビジネスキャンプなどの実証。

03 組織体制の強化

おうみ未来塾を含めたコアメンバーの募集、一般社団法人など法人化の検討。

04

パッケージ  
販売

職業体験マルシェの運営手法をパッケージ化して全国に伝播する。アドバイザー料も含めた収益化。

05

事業受託

行政へ子どもの職業体験に係る様々な事業を提案して事業を受託する。講演会等の依頼も目指す。

## 【次年度のキッズ職業体験マルシェについて】

シッガニア2024

今年との比較

シッガニア2025

ハロウィンの時期 10/26(土),27(日)

開催時期

夏休みの平日 8/20(水)

草津市／イオンモール草津(企業)

開催場所・コラボ先

守山市／守山市役所(行政)

IT・ものづくりのお仕事

職業テーマ

美を追求するお仕事orテーマなし

事前予約なしの当日受付制

運用方式

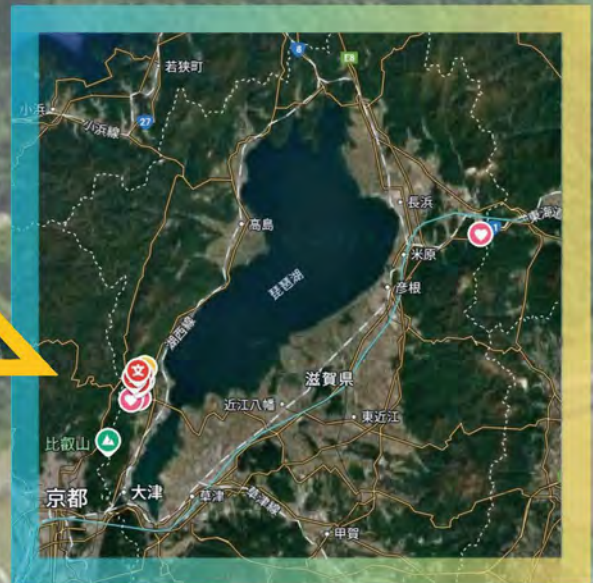
事前予約も検討する



ほとんどのメンバーがこのような大規模イベントを開催するのが初めてで準備は大変だったのですが、子ども達の楽しそうな笑顔が見られて嬉しかったです。第2回は実験的に形を変えてまた開催したいと思います！

# たなぼた家

## 活動報告



## 伊香立って!?

伊香立学区 **2,842**

現在、学区全体の人口の  
1/3が山百合の丘の住民

伊香立 **1,905**

- 10代以下 172名
- 20~40代 526名
- 50~60代 545名
- 70代以上 662名

山百合の丘 **937**

- 10代以下 401名
- 20~40代 441名
- 50~60代 63名
- 70代以上 32名

~伊香立の令和6年10月現在人口~



**田植え定規使い丁取に**  
 大津の小学生ら体験  
 米作りは昔の人の「力仕事」で、大津市では、米作り体験イベントを開催している。今年も、大津市立大津南小学校の児童らが、大津市農業センターで、田植え体験を行った。児童らは、定規を使い、丁取で田植えを行った。体験を通じて、米作りの大変さや楽しさを学んだ。大津市農業センターでは、毎年、田植え体験イベントを開催している。今年も、大津市立大津南小学校の児童らが、大津市農業センターで、田植え体験を行った。児童らは、定規を使い、丁取で田植えを行った。体験を通じて、米作りの大変さや楽しさを学んだ。

1. 少し昔のお米作り  
 農業体験イベントを開催

田植え  
 ↓  
 夏場の  
 雑草取り  
 ↓  
 稲刈り

天日干しのお米は  
 格別です！！



**4回のイベントに  
 延べ282名参加！**





## たなぼた家の活動記録

### 1～3月

- 1月 たなぼた家結成
- 2月 伊香立訪問  
目標発表会
- 3月 畑の準備、植え付け

### 4～6月

- 4月 年間農業体験募集  
プレスリリース  
田んぼの準備
- 5月 田植え  
芋苗を植える+BBQ
- 6月 中間報告会

### 7～9月

- 7月 稲の観察(夏野菜)  
いかだち夏まつりに  
お手伝いで参加
- 8月 稲の観察(流しそうめん)
- 9月 稲刈り～天日干し

### 10～12月

- 10月 さつまいもの収穫1
- 11月 さつまいもの収穫2  
いかだちマルシェで  
焼き芋とお米の販売
- 12月 成果発表会

## たなぼた家がミッションとしたこと

地域の課題として取り組むのはこの2つ！！

空き家

耕作放棄地/休耕田

この2つが揃っている大津市北部の伊香立(いかだち)学区に焦点をあてました。

### ー伊香立が抱える問題ー

少子高齢化、過疎化が進み、担い手のない荒れた田畑や空き家が目立つ。一方で、近年学区内に新しくできた住宅地(山百合の丘)には若いファミリー層が多い。ただし山百合の丘には、自治会がないために新旧住民の交流できる機会が少ない。わたしたちが地域の『空き家』や『耕作放棄地』を使ってイベント等を開催することで、新住民の方々をうまく呼び込めたとしたら、まちづくりの大きな一歩になるかもしれない。

## 伊香立を選んだ理由は4つ！！



地域が抱える問題がある



地域に繋がる太いパイプがある



地域に変わりたい思いがある



活動拠点にできる場所がある

# 芋植え



2.コミュニティファーム  
地域のちとのつながりを持つための  
野菜作り

さつま芋を自分たちで育てて  
収穫したお芋は石焼き芋に！  
いかだちマルシェで販売

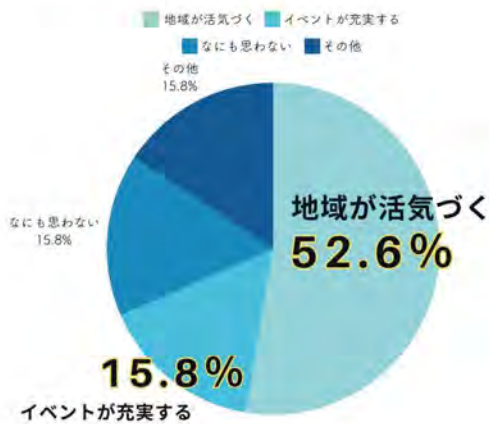


# 完売御礼

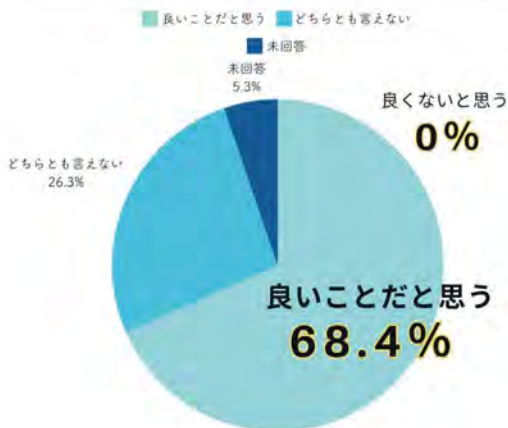
# 「たなぼた家」活動に関するアンケート

## 伊香立学区の各種団体長19名の方からご回答いただきました

たなぼた家が伊香立で活動していることをどう思いますか？



伊香立の行事を、他学区の人が運営サポートしていることについてどのように思いますか？



### 1. たなぼた家について

たなぼた家の活動について、どの程度知っていますか？

よく知っている	2
少し知っている	9
ほとんど知らない	8

たなぼた家のメンバーについて、どのように思いますか？

熱心で活動的	5	その他（具体的に）	0
フレンドリーで話しやすい	6		
よくわからない	9		

### 2. 伊香立での活動について

たなぼた家が伊香立で活動していることをどう思いますか？

地域が活気づく	10	その他（具体的に）	3
イベントが充実する	3	良いことだが対策になっているのか？	
なにも思わない	3	わかっていない	

今年のたなぼた家の活動について、どのように評価しますか？

満足している	3	その他（具体的に）	7
まあ満足している	7	答えられない/わかっていない	
あまり満足していない	2	伊香立での活動は大いに歓迎する	
不満	0	伊香立と山百合の架け橋になっている	

特に良かった活動はどれですか？

農業体験イベント	7
伊香立を知ってもらえた	

改善してほしい点はありませんか？

空き家対策に方向性を見出してほしい
もっと活動をアピールして人を引き入れるように

### 3. 伊香立の行事運営サポートについて

伊香立の行事を、他学区の人が運営サポートしていることについて、どのように思いますか？

良いことだと思う（理由）	13	⇒ 学区の理解が深まる/得られる支援は活用すべき
どちらとも言えない	5	子どもたちへのよい影響を期待
良くないと思う（理由）	0	他学区の意見は必要、伊香立の将来のため 地元の人が気づいていない点を見れること

他学区の人も参加しやすいような、より良い活動方法があれば教えてください。

メンバーが自分の学区に声掛けて広げる
活動の意図や内容をさらに多くの人に広報、周知していくこと
畑のオーナーを募集する/「芸術の村」空き家をアトリエとしてレンタル、展示会を催す等

### 4. 来年の活動について

来年もたなぼた家が伊香立で活動することを希望しますか？

強く希望する	5	その他（具体的に）	1
希望する	9	毎年いろんなことにチャレンジしながら	
どちらとも言えない	2	伊香立学区民とも交流を深めてほしい	
希望しない	1		

来年の活動でやってほしいことはありますか？

空き家を確保して移住してもらえる場所に
空き家や耕作放棄地について地元の人たちと一緒に考える場を作ってほしい
非耕作農地の活用方法/作物の加工から販売まで

### 5. その他

たなぼた家の活動について、何かご意見やご要望があればお聞かせください。

引き続きお願いしたい/若い方にもっと知ってほしい
伊香立から空き家や耕作放棄地をなくしてほしい
新旧住民の交流を通じてまち協の会員増への起爆剤になることを期待する
小さな活動が大きな収穫になっていくので根気よくやってほしい
今後も継続できる内容と住民を巻き込むこと
伊香立の人をもっと仲間に加えてほしい、人材の掘り起こし

ご協力ありがとうございました

# 伊香立まちづくり協議会個人会員

~R6年12月現在~

山百合の丘地区の方が個別で入会 3軒 13/937名



来年度入会予定 5~10軒 15名以上が一気に増加!?

~R6年前期まで~

伊香立地区の住民のみで構成されている

実は、自治会員=まち協個人会員

(理由)各自治会が自治会費の中からまち協へ支払いをされているため

この10年変わらなかった伊香立地区と山百合の丘地区の関係性  
ここにきて変化の兆し!?

## ウェーブが起こった!

たなぼた家の活動が直接影響したわけでもない  
でも確実になにかが伝わりはじめている

## まさに

つながる ひろがる 流れをつくる  
地域のお宝探し隊

# 活動をおして

- ✔ たなぼた家での活動は仲間と共に学び、地域とつながり、貴重な経験と視野の広がりを得たかけがえのない時間でした。
- ✔ 普通は地域の顔役の方々との交流が困難ですが、青木代表を通じてすぐに繋がる経験をえた事が学びになりました。
- ✔ 地域の強みは人であることを学びました。伊香立の地域の行事をたなぼた家で経験したことや、繋がりをもつことで愛着が湧き全て貴重な体験でした。
- ✔ たなぼた家での出会い、引きの強さ、人間力すべて地域プロデュースにも繋がること。まずは、楽しいじゃなければ、盛り上がらないから楽しいフィールドで良かったよん。
- ✔ 地元伊香立でのフィールドワークは私にとって貴重な経験でした。そして、あらためてここが私のアナザースカイなのだと腑に落ちました。
- ✔ Let's keep challenging ourselves.



たなぼた家”の近況や情報はInstagramで発信中

TANABOTA\_KE



@TANABOTA\_KE



@TANABOTA\_KE



Omi x Tourism

埋もれた自然と歴史文化資源を活かしたツーリズム

おうみ X ツーリズム  
Omi cross Tourism

活動報告

## 埋もれた自然と歴史文化資源を活かしたツーリズム

### ① ビジョン (Vision / 目標)

各地域の人々が、地域愛と誇りを持ち幸せに暮らす社会 (Well-being)

### ② ミッション (Mission / 理念)

「おうみ」の埋もれた地域資源 (鄙美〈ひなび〉、秘境の歴史、交流体験など) を磨き活かし、地域課題を解決する

### ③ コンセプト (Concept / 方向性)

地元の人と参加者が、磨かれた地域資源を通じ、サステイナブル・ツーリズム (近江学、アクティビティ、MLGs) を体験・交流することで、共に地域固有の魅力・価値に気づく

## メンバー



山本一男



若林佳子



深田拓哉



井上昂大



花崎昌子

### 背景

滋賀県内の各地域には、地域資源(自然、歴史文化、暮らし)が多く存在する(例えば重要文化財の多さでは全国3位)。しかし、多くの地域資源は利用されず、埋もれたままで十分には活かされていない。各地域で古き良きものが失われつつあり、次世代に引き継がれていない。結果、地域問題(地域人口の減少化, 地域力の衰退化, 地域コミュニティの弱体化)にもつながっている。

### 課題

「景観10年, 風景100年, 風土1000年」という言葉がある。作り出すには、これだけの時間がかかるということ。そして近江には1000年以上の風土が今も残る。近江の利用されず埋もれた地域資源を発見し磨き上げ、新しい価値を付与し、魅力的な宝物にしていくことが大切。その宝物(魅力)を地域創生につなげる手段の一つが、「サステイナブル・ツーリズム」である。

## x(cross) ツーリズムの展開

- 「おうみ x ツーリズム」は、埋もれた(眠っている)滋賀(近江)の地域資源を、「ツーリズム」という手法で、地域の活性化(Well-bing)や地域力回復に寄与する市民活動である。
- この活動を通して「地域 x 観光 x 交流」の可能性を探り、サステイナブル(持続可能)なツーリズムのノウハウを蓄積していく。
- その考え方とノウハウを横展開し、各地で共感する仲間を増やす(地域プロデューサーを生み出す)ことを継続する。

## 5回のツアーを実施

1. 05/26 長浜・八丈岩トレッキング【春開催】
2. 06/08 長浜・庭園めぐり「庭園文化を識る」【春開催】
3. 11/16 草津・野菜収穫サイクリング【秋開催】
4. 11/17 長浜・八丈岩トレッキング【秋開催】
5. 11/24 長浜・庭園めぐり「庭園文化を識る」【秋開催】



Web  
SNS



公式サイト



Instagram

実施したツアーの紹介へ

# 長浜での活動

## 5/26 里山の風と味を楽しむ山守のいる町 八丈岩へ登ろう

1. 里山のトレッキング（姉川合戦はあそこ！）
2. Stay Forestのメンバーが荒れた山を整備、親しまれる山に
3. 各年齢層(6歳～70歳代)が初めてのモルックで盛り上がる



八丈岩からの景色



## 11/17 長浜・秋の八丈岩トレッキング 作業のお手伝い・紅葉狩り

Stay Forest  
Facebookページ⇒



山から降りると、炊き込みご飯や味噌汁のいいにおい！  
おかずも盛りだくさん！参加者自ら配膳してくださいました。

登山するだけでなく、この土地のコミュニティと交わる！

森の整備・管理・活用・今後の展望を語ってもらった

1. Stay Forest＝山守の活動、森を活かすイベント開催
2. 森のハジマリ＝レンタルスペース、森のカフェ
3. 森と子どもと・かえでの庭＝自然の中での子育て
4. 下草野郷土歴史研究会＝地域の歴史研究会
5. 草野農場＝地元農家、米農家で甘酒製作・販売
6. ふくらの森管理者＝浅井湯田地域づくり協議会

山道の滑りやすい箇所に、木段を設置する作業の説明を聞く

## 6/8 「庭園文化を識くしる」美しい庭に癒される 長浜で庭園文化の新たな発見を！

- ①午前の部＝ウォーキング（長浜駅→個人邸→城下町遺産→安藤家・ワークショップ）
- ②午後の部＝バスツアー（長浜駅→赤田家庭園→石田会館→総持寺・ワークショップ）
- ③1日コース



## 11/24 秀吉公ゆかりの長浜めぐり、「庭園文化を識くしる」



お庭めぐりの最後の箱庭づくり，和気あいの共同作業グループに分かれて，学生さんたちがナイスサポート！



お庭カフェ店主の説明を聞き入る参加者。  
施設の所有者にご説明いただく！

### アンケートより

- ・ 戦国から明治までいろんな文化・遺構が残っているまちだ。
- ・ 長浜の当時の経済状況を知ることが出来ました。
- ・ 魯山人さんが、長浜にこんなに関わっておられたことを全く知らず、当時の長浜の繁栄を感じることが出来ました。
- ・ お庭という観点でまち歩きをしたことがなかったので、新しい発見でした。また、ガイドさんがいることで、エピソードを聞いて個人で廻るより、濃い時間でした。最後のワークショップで葉っぱに文字を書くという発想はなかったので、新鮮で思い出になると思いました。
- ・ 箱庭づくりへの運びは素晴らしい！知識のない私でも創作しようと思えた。
- ・ ワークショップがあることで、参加者同士のつながりが生まれた。
- ・ 庭の説明を聞いて、庭の見方が変わった。学びが多い1日だった。

### 観光が地域をよくする！

♡旅人も住人も幸せになる♡

☞住んでよし！訪れてよし★

- ・ 来訪者に土地の文化・生活を味わってもらい同時に地域の方々にも改めて地元の良さを見直してもらいたい。
- ・ コミュニティ・ビジネスなどへの進展も。地元の個人・団体の方々と連携して地域全体を盛り上げていきたい。

# 草津での活動

## 草津ツーリズムの目標

1. 草津市内の観光を活性化する**新たな交通手段**の導入
2. 草津川跡地公園やビニールハウス群を利用したイベントの実施

## 11/16 野菜収穫サイクリング



休耕中のビニールハウス内でヨガやモルックなどのアクティビティを実施



草津のマスコットキャラクター「たび丸」とラジオ体操で準備運動



レンタサイクルがあれば、草津市内を快適に観光できます！



昼食は、収穫した野菜を使用して、学生さんが調理したオリジナルメニュー！お腹も心も大満足のツアーになりました！

### 今年度の成果

- 参加者は、滋賀県内だけではなく、兵庫や大阪など近隣の都道府県からも集まり、年齢も20代～50代までの幅広い人々に草津の魅力をもっとPRできた。
- 観光物産協会や農家、学生団体など多くの団体と連携した観光イベントを実施できたため、イベントに協力いただいた団体同士の横の繋がりを生むことができた。

### 草津での活動協力団体

草津市観光物産協会



草津川跡地公園



滋賀櫻和会



@MOLKKY\_OUWAKAI

近江彩菜



@OUMISAISAI

学生団体 BohNo



@BOHNO.CAFE

農家さんのお話を聞きながら、野菜を収穫！

獲れたてをそのままパクッ！

# 活動の総括

## 活動の成果

- **地域資源を再発見**
  - 隠れた地域資源である「草津野菜」や「長浜八丈岩」などを調査探求し、その魅力を発信したことで、参加者に地域の新たな価値を再認識してもらえた。
  - 長浜の庭園を紹介するツアーでは、歴史や文化的背景をわかりやすく解説し、地域資源の可能性を感じさせる活動が高評価を収めた。
- **体験型の観光イベントを成功させた**
  - 「草津野菜収穫サイクリング」や「長浜八丈岩トレッキング」を実施し、地域の農と食の文化や自然の魅力を参加者に体感してもらうことに成功した。
- **地域外からの参加者を誘引**
  - 地域外から観光客を集客し、地域に経済的貢献をもたらした。特に歴史的景観や地域特産品への興味を高める活動となった。
- **地域住民との協働の深化**
  - 地元農家や観光協会、活動団体とのコラボレーションを通じて、地域住民が地域の価値を再発見する機会を提供できた。
- **チームスキルの向上**
  - 持続可能な観光モデルを実践しながら、運営スキルやチームワークを向上させた。

## 活動の課題

- **運営体制の持続可能性**
  - イベントを続けるための資金や人材が不足しており、長期的なしくみづくりが必要。
  - 収益モデルやフォローアップ体制の構築が求められる。
- **地域住民とのさらなる連携**
  - 地域全体での参加に向け、住民の理解と協力を一層促す必要がある。
- **広報活動の改善**
  - イベント情報の発信が限定的であり、SNSや地域メディアを活用した広報の強化が急務。
  - 特に若年層をターゲットとした戦略が求められる。
- **運営の効率化**
  - 実施日の設定において、移動手段やスケジュール管理の改善が求められる。
- **新しい観光の視点を開発**
  - 資源の再発見に留まらず、持続可能性やテーマ性を深めた観光プログラムの創出が必要。

## 未来のツーリズムをめざして

● **まず、サスティナブル・ツーリズムから**  
サスティナブルツーリズム（持続可能な観光）は、観光が環境や地域社会に与える悪影響を軽減し、長く続けられる形で発展させることを目指しています。具体的には、地域資源を活かし、自然環境や文化を守り、地元の人々に利益をもたらす観光です。観光客が地域の習慣を尊重し、環境に優しい行動をすることも大切です。このような観光は、地域経済を支えながら、地域の魅力を未来へ守り、持続的に成長することができるツーリズムのカタチです。

● **そして、ウェルビーイング・ツーリズムへ**

ウェルビーイング・ツーリズム（心身の健康幸福感の高い観光）は、単なる旅行を超えた、心と体、そして地域も共に癒され、成長する旅です。自然の美しさ、深い歴史、豊かな文化、そして地域の人々との触れ合いを通じて、旅行者は内面の充実と癒しを得ると同時に、地域に新たな活力をもたらします。こうした旅は、旅行者と地域が共鳴し合い、持続可能な未来を創る力を秘めています。「おうみ x ツーリズム」は、ツーリズム活動を通して、幸せに暮らす社会づくりを目指します。



# 翔んでびわ湖活動報告

～びわ湖を愛する同志たちは、集結出来たのか？～

## 翔んでびわ湖のメンバー紹介



## はじめりはあっちゃんの想いから

「ヨシ狩り」とか「びわ湖清掃」のイベントによく行くんだけど、その主催者さんたちはどんどん高齢化してきて『活動を引き継ぎたいけど、担い手がいない』『そもそも、自分たちの活動をもっと知ってもらわないと、担い手も出てこない』って嘆いてて、私はその人たちのやってることをみんなに知って欲しいし、続けられるようにしたい。



私たち「翔んでびわ湖」にできることは何だろう？

サブ講座・LINE・ZOOMで何度も打ち合わせしました。

# みんなで決めた「翔んでびわ湖」の活動方針

滋賀県には、びわ湖を愛する人がたくさん住んでおり、素晴らしい活動をされています。**その素晴らしい活動をもっと多くの滋賀県民に知ってほしい、参加してほしい、学んでほしい！**滋賀県の小学生はうみのこ・やまのこなどの体験学習を受動的に受ける機会があります。一方、県外出身の大人には、そういった機会はありません。

『大人もびわ湖について、知り、参加し、楽しむ機会を作ろう！』  
それが、私たち翔んでびわ湖の活動方針です。

でも、どうやって??



びわ湖フローティングスクール

そうだ！滋賀にはうみのこがあるじゃないか！



大人向けの「フローティングスクール うみのこ」を企画したら面白いんじゃないか？



## 滋賀県の小学5年生が体験する「うみのこ学習（フローティング・スクール）」について知ろう

### 【この学びの目標】

地域の水環境について、探究活動を通して、自分の暮らしと水環境との関わりに気づき、地域の水環境を守るために必要な行動を考えたり、郷土を愛する心情をもったりする。

5年 前 期 「みでこ」調査隊 単元指導構想図 [全7回 時間]

単元目標  
・地域の水環境について、探究活動を通して、自分の暮らしと地域の水環境との関わりについて、地域の水環境を守るために必要な行動を考えたり、暮らしを愛する気持ちをもったりする。  
・よりよい地域の水環境を目指して、自らの学習課題を設計、解決する能力を高める。  
・伝える相手を意識した、わかりやすく効果的な表現方法を工夫することができる。

主な学習の過程と学び

1. 地域の水環境について、探究活動を通して、自分の暮らしと地域の水環境との関わりについて、地域の水環境を守るために必要な行動を考えたり、暮らしを愛する気持ちをもったりする。  
2. よりよい地域の水環境を目指して、自らの学習課題を設計、解決する能力を高める。  
3. 伝える相手を意識した、わかりやすく効果的な表現方法を工夫することができる。

事前・事後学習がとっても大事!

びわ湖を愛する人々が既に実施されている活動を『大人のびわ湖エコ・スクール』における事前・事後学習と位置付ければ、その素晴らしい活動をもっと多くの滋賀県民が知って・参加して・学んでくれるのではないか!?

うみのこ乗船はあくまでもうみのこ学習の一部

フローティング・スクール(9月)



調査を踏まえて、活動計画を作成しました

## 事前・事後学習

### 【1st Step】

- ・メンバー全員で分担して、とにかくイベントに参加
- ・活動の趣旨や団体の想いを理解する

### 【2nd Step】

- ・MLGs13の項目を切り口として、イベントの参加報告(SNS)
- ・同時に聞き取った趣旨や想いを発信



### 【3rd Step】

- ・びわ湖検定やスタンプラリーを作成し、イベントに参加してくれる人を増やす流れを作る



うみのこ  
乗船にむけた  
活動

## 【実際の活動】

### 事前・事後学習 Step1

- ✓メンバー全員で分担して、とにかくイベントや活動に参加しました
- ✓チラシで企画の趣旨を伝え、団体の活動の趣旨や団体の想いを聞き取りました
- ✓Zoomミーティングで情報を共有しあうことで、更にびわ湖愛が増大する好循環！



- 1/20：ハマヒルガオを守る会とお話
- 2/ 8：滋賀県MLGs担当三和理事とお話
- 2/ 8：エコスクール×MLGsセミナー参加
- 2/18：ヨシ狩り体験（安土）
- 3/ 2：こんなこと知ったよ展
- 3/ 2：赤野井湾港クリーン作戦
- 3/ 7：BIWAKO DAUGHTERSさんとお話
- 3/ 9：再エネ体験ワークショップ（日野）
- 3/10：びわ湖マラソン
- 3/11：滋賀県市町振興課(ピワコ相談)
- 3/16：滋賀みらい共創サミット
- 3/23：新酒権座を味わう集い（近江八幡）
- 3/24：長浜さざなみタウンMLGsカフェ
- 4/21：かばた見学（針江）

- 5/19：しゃくなげ溪ウォーク（日野）
- 5/19：東近江SEA TO SUMMIT
- 5/25：びわ100歩行練習会
- 6/17：琵琶湖知新さんとお話(Zoom)
- 6/26：琵琶湖を戻す会 外来魚駆除イベント
- 6/30：KIFAツアー（漁業体験など）
- 7/ 7：びわっこフェスタ
- 7/15：マリンスポーツフェスティバル
- 7/25：琵琶湖知新×MLGsセミナー
- 8/10：HELP展
- 9/ 6：みんなのBIWAKO会議
- 10/19：びわ100歩行大会
- 11/ 1：マザーレイククルーズ
- 11/ 3：蓬莱マルシェ

## 事前・事後学習

### Step2

- ✓メンバーが参加したイベントをSNSを使って発信
- ✓主催者にインタビューするとき、活動をわかりやすく説明するための工夫としてチラシを作成した

lit.link



Googleマイマップ



Instagram、Facebook、lit.link  
Googleマイマップを使って、  
各団体・イベントへの参加記録と  
主催者の想いを発信

チラシを使って  
主催者さんに  
インタビューも実施



私たちは、  
おうみ未来塾17期生  
『翔んでびわ湖』です。

滋賀県には、びわ湖を愛する人がたくさん住んでおり、素晴らしい活動をされています。その素晴らしい活動をもっと多くの滋賀県民に知ってほしい、参加してほしい、学んでほしい！  
滋賀県の小学生はうみのこ・やまのこの体験学習を受動的に受ける機会があります。一方、県外出身の大人には、そういった機会はありません。『大人もびわ湖について、知り、参加し、楽しむ機会を作ろう！』それが、私たち翔んでびわ湖の活動方針です。

おうみ未来塾17期生

『翔んでびわ湖』  
公益財団法人 淡海文化振興財団  
淡海ネットワークセンター

『翔んでびわ湖』  
活動方針

## 『翔んでびわ湖』活動計画



- 1 イベントに参加し、活動の趣旨や団体の想いを理解する  
本日、インタビューのお時間を頂戴します。  
よろしくお願致します。
- 2 MLGs13の項目を切り SNS発信がうまくいかない...  
主催者さまからお話しいただい! 中々広がらない...  
随時、発信しています 上手く伝わらない...  
発信の難しさを  
実感しました🙄
- 3 参加してわかる『びわ湖Quizラリー』の作成  
現在、準備中です。リリースの際にはぜひご案内させていただきます。



## 事前・事後学習

### Step3

- ✓卒塾までにスタンプラリーを作ることは出来なかった
- ✓琵琶湖知新さんと協働できないか模索中
- ✓メンバーのペースで卒塾後も一歩ずつ進みます！

## うみのこ乗船にむけた活動 Step1

まずは『大人が正攻法でうみのこに乗れる方法はないのか』を調査

- 3/ 7：フローティングスクールとお話
- 4/26：フローティングスクール事務局打ち合わせ
- 5/ 11：カッター活動副船長講習会
- 7/ 6：うみのこ乗船
- 7/ 20：親子体験航海サポーター参加
- 8/ 2：フローティングスクールサポーター研修会&教員教材説明会
- 9/ 22：うみのこ見学会



またも突撃！



## 大人でも、うみのこに乗って 学ぶ方法はある！！

1

「湖の子」サポーター会 (INTO) に入り、  
サポーターとして乗船

2

「うみのこ」見学会に行く

3

学習船「うみのこ」親子体験航海に参加

な、なんと！

大人のうみのこを企画するメンバーが、うみのこに乗っていない訳には  
いかない！滋賀県立びわ湖フローティングスクールの先生方に趣旨をご理解いただき、  
特別にご許可をいただいて、動くうみのこに乗船しました。

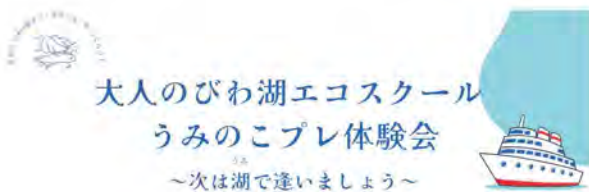


船内には、再現したい学びが  
たくさんあり、どの学びも  
乗船されている先生方の  
熱い想いとびわ湖愛に  
溢れていました。



## うみのこ乗船にむけた活動 Step2

『自分たちが大人のうみのこを運営するなら?』を想定したイベントを開催。活動の中で出会った方に直接講義をしていただくことで、想いを伝えることが出来た!



滋賀県出身はみんな愛するとういう『うみのこ』、県外出身の私も愛したい!そんな気持ちから始まったこの企画。  
『いつかは湖へ、そして大人もびわ湖について、知り、参加し、愛した職員を作ろう!』  
今回は、『地上で』うみのこに乗った気分を味わいませんか?

開催日時: 2024年11月30日(土) 10:00~14:00

会場: 琵琶湖博物館 〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 TEL: 077-568-4811

募集人数: 30名(小学生の同伴可)

参加費: 無料(入館料は別途必要です)

こちらの二次元コードからお申込み下さい→



「うみのこ」  
での学びを  
知らろ!

- 10:00 opening
- 10:10 introduction 『フローティングスクールの歴史と学習について』
- 10:40 『うみのこ』とおんなじ!びわ湖のお話 『生きているびわ湖』 滋賀県温暖化防止活動推進員 浦 幹夫 さん
- 11:25 びわ湖文化を知ろう! 『漁師からみたびわ湖』 『フィッシャーアーキテクト』代表 駒井 健也 さん
- 12:00 休憩 ※昼食はご持参もしくは博物館内のレストランをご利用ください
- 12:40 『翔んでびわ湖メンバーが見た!』 『うみのこ乗船レポート・乗らななやわからない小ネタ集』
- 13:00 びわ湖を知るワークショップ『プランクトンを観察しよう』 琵琶湖博物館 渡邊 俊洋 さん
- 14:00 ふりかえり・まとめ・解散
- 14:30 お楽しみタイム(任意参加)

漁師になりに  
投網体験

イケチョウカイ  
のクワフト展示

3時のおやつ?  
湖魚の佃煮試食会



5年生と同じ内容の講義



琵琶湖に向かって採水体験



駒井さんによる授業



顕微鏡でプランクトン観察



フローティングスクール解説



参加者によるびわ湖宣言!



投網体験



当日ご受講いただいた生徒さんです

## 翔んでびわ湖 11カ月の成果

### 《目標》びわ湖を楽しみ、びわ湖を愛する滋賀県民が増えている

川村評価: びわ湖ネタで酒が飲める同志に感謝です!これをさらに広めていけるはず。

藪田評価: 活動を通じているいろいろなイベントに参加し『やっぱりびわ湖が好き』と再認識しました。これからは人を巻き込み【びわ湖愛】を感染させていきます。

加賀山評価: 私が楽しんでいるのを見て、県内県外関わらず一緒に楽しんでくれる人ができました。

鶴田評価: 知れば知る程もっと深みにハマりたい欲求が湧いてきた。びわ湖愛感染拡大中!

末吉評価: びわ湖は楽しめたけどまだまだで、愛する人ははじまったばかりでこれからこれから!

野矢評価: びわ湖を楽しむには少し遠いですが、心の距離は近くなった気がします。

いつかは湖上での大人のうみのこ!  
これからも、たくさんの人をびわ湖愛で巻き込みます!

THANK YOU!

## R6. 12.21 成果発表会

成果発表会では、どのグループも「この1年4ヶ月の間に色々なことがありました。」と発表するほど、15分間のグループ発表では語れない、嬉しかったこと、辛かったことについて報告しました。いろんな価値観をもったメンバー同士、何度も話して話してたくさんの成果を作り出しました。活動が終わったことの安堵とやり切った達成感で、17期生みんなの顔が晴れやかだったことが印象的でした。

### おうみ子ども未来塾



シガニアについては準備が大変で紆余曲折ありましたが、それも含めて良い経験になりました。運営委員さんのコメントにもありましたが、メンバー全員やりきった顔をしていましたと思います！

### おうみ x ツーリズム



前半・後半を含めてすべてのツアーを、無事盛況に終えることができました。準備からツアー当日まで、多くの達成感とそこで生まれたつながりとを実感し、私たちでも地域を盛り上げられる自信に繋がりました。

### たなぼた家

沢山のご縁が奇跡的につながったミラクル連発の活動となりました。総勢約300人の方が関わって下さり、4回のイベントを開催する事が出来ました。最初に思っていた「つながる・広がる・流れを作る」事が活動を通して実践できた事が良かったなと思います。



### 翔んでびわ湖

元々期間内には終わらないと思いながらはじめた活動でしたが、予定通り期間内には終わらないまま（笑）、一旦卒塾となりました。でも、メンバーの顔は達成感に満ち溢れていました！



☆打ち上げ☆  
ニクバル  
モダンミール  
大津店

## 卒塾式



### 卒塾生代表：川村 幸夫(翔んでびわ湖)

皆様、本日は私たち17期生の成果報告会、卒塾式にお集まりいただき誠にありがとうございます。

2023年9月に26名の塾生でスタートし、5回の本講座を受講後、**おうみ子ども未来塾/おうみ × ツーリズム/たなぼた家/翔んでびわ湖**の4つのグループを形成しました。

本講座だけではなかなかメンバー同士打ち解けあうまで時間がかかったという印象がありますが、個性あるそれぞれのグループが今日に至るまでの約1年、目標発表会で掲げたテーマに沿って試行錯誤を重ね、イベントの開催など一定の成果をあげることができました。運営委員の方が過去の活動で大変だったとお話しされていましたが、実際大変でした。(笑)

グループ形成後は塾生が一堂に会す機会が2回しかありませんでしたが、各グループのSNSやイベントに足を運び活動状況を拝見していました。毎週欠かさずzoomを開いているチームなどもあり、感心していました。深田さんとは良く通勤電車内で情報共有してました。私が所属していたびわ湖愛に溢

れる翔んでびわ湖グループでの活動では、個々の引き出しが多く、知らなかったびわ湖の情報や魅力を知る事ができ、この仲間に出会えた事に感謝しています。今ではグループを越えた交流もあり、ここで得たネットワークを活用することで、新たな化学反応が生まれるような実感があります。

私たち17期生は、一旦卒塾しますが、引き続きそれぞれの地域や分野で「未来を担う地域プロデューサー」として、未来塾での学び、この場所で得た絆と志を胸に行動し続けることを誓います。

最後に、おうみ未来塾に関わるすべての皆様に心より感謝申し上げ、17期生一同の卒塾のことばといたします。本当にありがとうございました。



# たなぼた家。おうみ×ツーリズム

たなぼたメンバー最高♡きーさん  
楽しい活動のっばいの仲間創成の!  
ありがとう!そしてこれからヨロシク  
おん  
きょん



WE LOVE 伊勢☆

70周年@たなぼ

おうみ

2年.あつという間でした!  
楽しいフィールドでした



## 未来塾 ☆おうみ子ども未来塾

Omi cross Tourism

地域観光プロモーションを目指します。山本  
企画がうまくいったこと 외에도、  
皆さんとつながったことが、一番で、林佳子  
が未来塾のおかげで大きく成長することか  
でました!17期生の仲間たち。そして運営  
委員や事務局の各様のサポートで  
これかえのな。繋がりを感じることが  
できたと思っています!戻りたく  
若い人の学び場、とらえ方から学ぶ  
ことがたくさんありました。北の町  
あなたがいメンバーとやりとがまた  
また井上

もう皆さんは遠賀マニ了!  
これからもよろしくです 川村◎

羊明でびわ湖沼じなさま、このメンバーと  
まじわることはなからたと思います。奇跡の  
出会いに感謝!!

遠賀が楽しくなりました 末吉

還暦はさんとの参加で(はな。思いこて参加して  
よかったです!! 人生後半の大事な仲間と出会えた

びわ湖沼にあふれたメンバーに成長して  
感謝。これ が5年ぶりに、

びわ湖は愛とロマンのカマメです!!  
ますますびわ湖愛がです。byあちゃん

皆さんののおかげで娘とまじり  
成長させていたおとしました! 今井 幹

みなさんと出会えたことが人生の宝物になりました。  
今度とそよろしくおあがいらす大屋

あつという向の1年でした!  
みなさんと活動できたことは、貴重な体験です  
今後も楽しいイベントやっていきましょう! 木村

17期生もして、活動のすることで、滋賀に新しい世代  
“つながり”を創り出し、自身の息づかいを感じる機会  
楽しいイベントもつなげた。それこそが成長のきっかけ  
類するともに貴重な経験ができ、そしてみなさんご一緒  
おいていただいた1年でした。あなたがいメンバーに感謝。今井



淡海ネットワークセンター (公益財団法人淡海文化振興財団)  
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 (ピアザ淡海2階)  
TEL.077-524-8440 FAX.077-524-8442 MAIL office@ohmi-net.com